

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市榴岡図書館		
2 指定管理者	丸善雄松堂 株式会社		
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 96,265人団体〔個人：96,178人、団体・文庫：87団体〕（前年度 102.7%） ・ 令和2年度 93,711人団体〔個人：93,619人、団体・文庫：92団体〕（前年度比 84.8%） ・ 令和元年度 110,495人団体〔個人：110,296人、団体・文庫：199団体〕（前年度比 102.1%）		
	《事業》 ・ 仙台市榴岡図書館の運営管理		
5 収支の状況	《費用》		()は前年度決算
	・ 指定管理者に支払った費用	45,232千円 (45,232千円)	
	・ その他市が負担した費用	12,132千円 (12,572千円)	
	《収入》		
	・ 使用料収入	0千円 (0千円)	
	・ その他収入	18千円 (13千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート 実施期間：令和3年12月10日～12月23日 ・ 利用者懇談会 開催日：令和4年2月19日～3月8日		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された施設運営上の基本方針に基づき管理運営されており、全館共通の業務や行事を適切に行っている。また、サービスの質の向上や利用促進のための取り組みがなされている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況及び施設の開館状況は仕様書のとおり適切であり、指定管理料は適正に執行されている。 個人情報保護の取り扱いや図書館情報システムのセキュリティ対策を徹底し、事故防止チェックリストに基づき、事故や苦情等の事例を広瀬図書館と共有し、ヒヤリ・ハット集の充実を図っている。災害発生時の訓練は、適切に実施している。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物及び設備は適切に管理されており、毎日定時に館内を巡回し、事故・犯罪の未然防止に努めている。利用者から提供される紙袋を本の持ち帰り用に自由に利用してもらえるように設置するなど環境に配慮した取り組みもなされており、備品も適切に管理されている。	17/17
IV サービスの質の向上	手製の英語のコミュニケーションボードを利用案内に活用したり、書架の見出しを拡大し請求記号を加える等、常に利用者目線でサービス向上に努めている。また、作業手順書に職員の意見を取り入れて工夫を加えたり、研修参加確認表で職員が必要な研修を受講できるよう配慮したりするなどの取り組みが行われている。	27/27
V 施設固有の基準	ヤングアダルト世代（中高生）に向けた読書活動推進の事業としては、選書サポーターとして学生を募り、ともに選書・展示・広報誌づくりを行う取り組みを継続的に行っている。また、広瀬図書館との連携により尚絅学院大学で読み聞かせのワークショップを継続しており、仙台青葉学院短期大学では読み聞かせの講座を開催した。 東口ガイドボランティア「宮城野さんぽみち」との協働事業「まちあるき 土井晩翠ゆかりの地を歩く」を開催し関連資料の展示を行ったほか、歴史民俗資料館との連携事業では「学都と杜の都の成り立ち」として学芸室長より特別展の解説を含む講話と関連資料を展示するなど、地域の団体や外部機関との連携を積極的に図っている。	18/16

三 評価総括

《指定管理者（丸善雄松堂株式会社）による自己評価》
<p>1.令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大によって各種自主事業の休止等があったが、その中でも指定管理者として「基本方針」と「仙台市図書館振興計画（第2次）」に基づき、地域の教育機関、団体等との連携を促進し、利用者サービスの向上を図るとともに、地域に根ざし親しまれる図書館を目指して業務と自主事業を進めた。</p> <p>2.自主事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って一部実施を自粛した事業もあるが、その中においても工夫して事業を実施した。特にSDGsに関する取組みとして前年度も実施した「SDGsアンケート」の他、今年度は「SDGsクイズ」を3ヶ月に渡り実施した。単日の事業ではなく展示形式で実施することで、コロナ禍においても利用者に無理な外出を促すことなく実施できたと考える。その後実施した児童向け事業「ルーレットを回してSDGsを学ぼう」のSDGsの基本に関する問題では、参加者全員が正解し、展示等による学習の結果が感じられた。次年度も引き続きSDGsの啓蒙活動を進めていきたい。</p> <p>3.利用実績は、貸出冊数/日が67.9冊増、返却冊数/日が49.2冊増となった。コロナ禍における影響は排除できないが、貸出冊数の増加率(7.7%)が返却冊数の増加率(5.8%)より高いことから、展示や自主事業による利用促進の効果がでていると考える。</p> <p>4.教育研修は、遠隔研修を中心に積極的に参加し、図書館ニーズの把握に努めた。</p> <p>5.施設管理は、文庫本への買替えを進めるとともに閉架書架の配置替えを行う等、限られたスペースでもより資料を活用しやすいように整えた。またコミュニケーションボードを設置し、誰もが使いやすい図書館を目指した。新型コロナウイルス感染症対策としては、前年度に引続き、定時でアルコール消毒を行う体制とするとともに、定例おはなし会等については仙台市生涯学習支援センターと協力し、実施してきた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、SDGsの啓蒙活動を継続的なテーマとしていることから、クイズ形式で関連児童書を紹介するほか、児童書・一般書の各コーナーで関連資料の展示を拡大してアンケートを実施する等、年間を通じ趣向を凝らした取り組みを行った。</p> <p>地域ガイドボランティア団体との協働事業として、土井晩翠ゆかりの地を巡る「まち歩き」で晩翠草堂周辺から仙台駅東口境界までを案内し関連資料の展示を行ったほか、歴史民俗資料館や福沢市民センターとの間では講師の依頼や派遣を行い、また防災コーナーの書架に地元町内会の防災マップを掲示するなど、地域に根差した交流を深め、「地域・市民に役立ち、共に成長を続ける図書館」の実現に取り組んでいる。</p> <p>ヤングアダルト世代の読書推進を目的に、継続して中高生の選書サポーターを募集し、図書館の選書・POP作成・書架の装飾・ブックリスト作成等の支援を行った。仙台青葉学院短期大学、尚絅学院大学とは読み聞かせに関わる講師派遣などで連携を図り、図書館を担う専門職の育成にも貢献している。</p> <p>利用者サービスにおいては、外国人向けコミュニケーションボードや児童用パスファインダーの作成を行った。館内の配置を絶えず工夫し、書架の上段を活用してブックスタンドを追加することにより蔵書スペースを新たに確保し、入口の児童書展示コーナーにスタッフお気に入り本を手書きメッセージで紹介するなど、限られたスペースを最大限に活かし、魅力ある快適な図書館づくりに努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策としては、定期的な消毒等を行ったほか、おはなし会等の開催に際し、複合施設である生涯学習支援センターの協力を得て、密を避けられる広い部屋を使用するようにした。</p> <p>以上、榴岡図書館の指定管理者は、施設の設置目的に沿って適切に管理運営を行うとともに、ノウハウを活かした創意工夫によりサービス向上に取り組んでおり、大いに評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

--

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局市民図書館